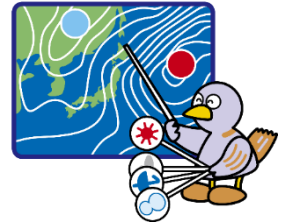


家畜衛生だより

暑熱対策は始めていますか？

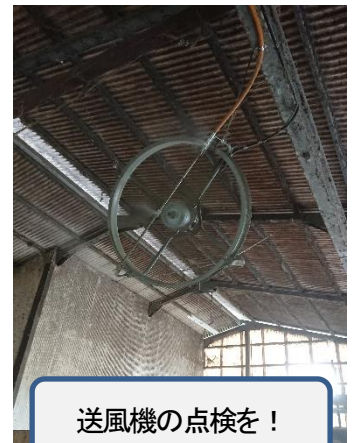


今年も暑い夏がやってきます。梅雨が明けると気温が急激に高くなる
ことが予想されますので、今のうちに早めの暑熱対策をお願いします。

また、今年7月の降水量が例年より多いとの予想がされています。雨により湿度が上が
ると、細菌やカビが増殖するのに好条件となります。

畜舎の清掃・消毒等、衛生環境にも十分気を付けてください。

- 換気扇や扇風機による畜体等への送風や散水・散霧を
行いましょう。
久しぶりに稼働させるときはホコリを除き、動作をチ
ェックしておきましょう。
- 寒冷紗やよしずで日除けを設置したり、屋根裏・壁・
床への断熱材の使用や、屋根への消石灰の塗布等によ
る畜舎環境の改善も検討してください。
- 良質で消化率の高い飼料や、ビタミン・ミネラルの追給、きれいで冷たい水
を給与しましょう。給水装置の点検・清掃も済ませておきましょう。
- 高温・多湿で飼料が変敗しやすい季節です。十分確認してから給与しましょ
う。



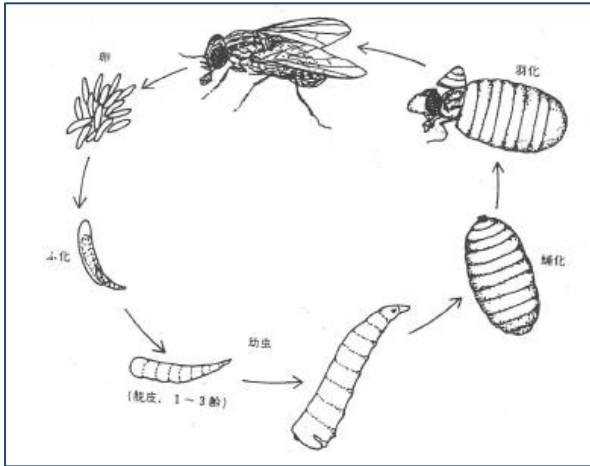
ハエの対策もお忘れなく

イエバエの活動は、梅雨の前後と夏から秋の時期に活発化します。ハエの活動時期に
合わせて効率の良い駆除計画を立てましょう。

①発生源対策

- ・家畜のふん尿やこぼれた飼料などはこまめに除糞、清掃を行います。
- ・堆肥化の際は適正な水分調整と発酵熱(60℃以上)を心がけましょう。
- ・IGR剤(昆虫発生抑制剤)を幼虫の発生する場所に散布します。

(→裏面に続く)



②成虫対策

- 成虫が好む餌と殺虫剤を混ぜてベイト剤（毒餌）を作成し、休息場所等へ設置します。ただし、大量発生した場合は効果が期待できません。

※薬剤を使用する場合は、生乳や鶏卵にかからないよう注意してください。

※同じ薬剤を連用せず、異なる系統の薬剤をローテーションして使用しましょう。

◆新型コロナウイルス感染症の影響を受ける農林漁業者・食品関連事業者への支援策について

新型コロナウイルス感染拡大を受けた緊急事態宣言により、様々な影響が広がっています。農林水産省ホームページでは、支援の内容を探しやすいサイトを掲載していますので参考にしてください。



(https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/support_maff.htm)

※「農水省 コロナ」で検索することもできます。

新型コロナ感染症の予防対策について

※体調管理やこまめな手洗い、手指の消毒、咳エチケットなど感染予防策を行ってください。

※食品を介して新型コロナウイルス感染症に感染したとされる事例は報告されていません。

※一般的な衛生管理が実施されていれば、感染者が発生した施設等において、操業停止や食品廃棄などの対応は必要ありません。

◆「定期報告」の提出はお済みですか？

家畜所有者の区分	報告期限
牛、水牛、鹿、馬、めん羊、山羊、豚 及びいのししの所有者	令和2年4月15日 まで
鶏、あひる、うずら、きじ、だちょう、ほろほろ鳥 及び七面鳥の所有者	令和2年6月15日 まで

報告書の様式の紛失や、記入についてのお問い合わせは家保まで御連絡ください。

家畜に異常を確認したらただちに家保へ通報してください！

【川越家畜保健衛生所】

住所: 川越市石田152

TEL: 049-225-4141